

環太平洋パートナーシップ貿易閣僚による首脳への報告書

(外務省仮訳)

2012年9月9日

TPP参加国の首脳がハワイ・ホノルルで会合を行い、我々に対しこの画期的な協定をできるだけ早く妥結するために必要なリソースを投入するよう指示をしてからの10カ月の間に、我々は、首脳が昨年11月に承認した「TPPの輪郭」に基づき、協定の完成に向けて心強い進展を得た。我々は、ハワイでの会合後に4回の交渉会合、正式な交渉会合の間の個別の交渉グループによる複数国間の多くの会合、特定の事項に関して前進への道を見出すための多くの二国間会合を行った。これらの会合、及び我々の各チームが交渉会合間に行った入念な準備作業、並びに我々の交渉方針を更に形成する中でインプットを得るために国内において行ったステークホルダーとの積極的な協議は、幅広い分野での我々の間の差異を相当に狭め、交渉の進展がより遅い他の分野での作業は継続しているところである。

この画期的な協定に対する首脳による共同の約束は、我々が作業に集中するのに役立つ。我々は、交渉中の29の章のうち、税関、越境サービス貿易、政府調達、電気通信サービス、競争政策、中小企業、競争力とビジネス円滑化、及び協力と能力構築を含む多くの分野で重要な進展を得た。また、原産地規則、投資、金融サービス、一時的入国を含むその他の分野においても、交渉グループは作業を実質的に進めた。加えて、他の章における我々の差異を解決する取組みは引き続き進展している。我々は、この協定が「シングル・アンダーテイキング」（一括受諾）であり、全てのTPP参加国が受け入れることのできるバランスのとれたパッケージとならなければならないことに留意しつつ、これまで我々が達成したモメンタムを高め、年内に可能な限り多くの章をまとめる決意である。

我々は、この歴史的な協定の5つの特徴のそれぞれの実現に向けた進展を喜ばしく思う。我々は、この協定が将来の貿易協定の水準を設定することを期待する。

(1) 包括的な市場アクセス

我々は、相互の物品市場に包括的で関税のないアクセスを与え、同時に、サービス、投資、及び政府調達に関する制限を除去する、高い水準の市場アクセスのパッケージを策定する作業を継続した。9つのチームは、我々の鉱工業品、

農業、及び繊維市場を相互に開く野心的な関税パッケージを策定するべく努力を継続した。この作業は、それぞれの国々について異なるペースで進んでいる。同時に、我々は、サービス、投資、及び政府調達市場へのアクセスを相互に与えるパッケージを策定している。サービス及び投資について、我々は、相互のサービス及び投資市場へのアクセスについて、当事国が例外としない限りアクセスを与えることを前提とする「ネガティブ・リスト」方式を基礎とする交渉を行っている。我々は、首脳が12月に会合を行って以降良い進展を得たが、このアプローチは一部のTPP参加国にとって新しいものであり、サービスと投資について、物品に関する我々のアプローチと同様に野心的な成果を達成するためには更なる作業が必要である。政府調達についても、一部のTPP参加国にとっては初めて貿易協定に含めるものであるが、いくつかの前進が見られた。しかし、各市場アクセスの交渉において、我々の交渉を導いている首脳の明確なビジョンに従い、各国にとって高い水準でバランスのとれたパッケージを策定するため、更なる作業が必要であることは明らかである。我々は現在、センシティブティのある分野がこの協定のために設定された野心を低下させることがないよう、創造的な解決策を見出すことに集中しており、そうすることによってのみ、我々の間の貿易及び投資を最大化し、我々の市民の雇用の創出や維持を支えるという重要な目標を達成できると認識している。

(2) 地域全域にまたがる協定

9つのTPPチームは、単一の関税スケジュール（譲許表）の策定へ向けたステップについての議論を行い、この10カ月間に、共通の原産地規則に合意することについて大きな進展を得た。これは、我々の国々の間での貿易を促進するための、この協定の最も重要な特徴の一つである。我々は、シンプルで執行可能な原産地規則を策定する作業を行っている。これは、域内での累積を促し、TPP参加国内での生産を促進し、我々の大小のビジネス双方にとって、この協定を活用し易くするものである。我々はまた、協定の全体にわたり、コネクティブティ、サービス、税関協力、及び規格等の事項を含め、TPP参加国の間での生産及びサプライ・チェーンの発展を支える他の約束に関する確たる進展を得た。我々9カ国は、これらの事項のいくつかにつき異なるアプローチを有している一方で、この協定が我々の経済の間でシナジーを促進し、我々の国民の生活水準を向上させるよう、妥協を見出すべく、緊密かつ建設的に作業を行っている。

(3) 分野横断的な貿易課題

我々は、我々がTPPに含めようとしている4つのダイナミックな分野横断的な課題のそれぞれの妥結に向かって進んでいる。我々の取組みは、これらの

分野においてAPECが既に行った重要な作業により大いに促進された。この10カ月間に、以下に関する章での合意に向け、期待の持てる前進があった。(1) 企業が外国市場に参入する際に、主要な障壁としてより直面するようになっている物品、工業及び農業の規格に関するものを含む規制及びその他の非関税障壁。我々は、規制制度上の慣行を改善し、不必要な障壁を撤廃し、規格の地域的な差異を減らし、透明性を向上させ、より貿易を円滑にする方法で規制プロセスを実施し、9か国が関心を有する特定分野をカバーする規制事項に関して協力するための新しい方法に関する我々間の差異を相当に狭めた。(2) 競争力及びビジネス円滑化。これには、競争力を強化し、我々の市場での雇用を維持する我々の生産及びサプライ・チェーンの発展を確保することに全体的に焦点をあてることを含む。(3) 地域の貿易における中小企業の参加を拡大する方法。これには、中小企業にとって具体的で、関連する、使い勝手のよいTPP関連情報及びリソースへのアクセス向上を通じて行うものも含む。(4) この協定の高い野心を実施し、協定の利益を十分に実現するために能力構築と協力を必要とするTPP参加国を支援するための能力構築及び協力、更には、経済開発の各優先課題に資する開発に関する追加的な約束で、他のフォーラムにおける開発に関する作業、ステークホルダーからのインプット、及びTPP参加国からの新たな提案に基づき進められているもの。

(4) 新たな貿易課題

首脳が11月に会合を行ってから、我々は引き続き、グローバルな貿易に生じている新たな課題にどのように対応するのが最善かについて慎重に検討を行った。我々は、例えば、情報技術の発展や、我々の競争力を強化し、貿易を促進し、中小企業が世界経済とつながることを支援するため、新たなデジタル経済の利用を促進することができる約束について、多くの時間を割いて議論を行った。我々はまた、グリーン成長及び新たな技術の利益を得ることを通じて、我々の共通の利益を前進させる方法についても検討を行ってきた。更に、我々は、透明で競争促進的なビジネス環境を確保するための適切なアプローチについての検討を継続している。これら及びその他の議論されている事項は、新しく複雑な問題であるが、9か国が真剣に取り組み、これらの分野で貿易及び投資を促進し、我々のビジネスと国民に利益をもたらす結果を追求することを約束していることを喜ばしく思う。

(5) 「生きている」協定

我々は、メキシコ及びカナダのTPP交渉参加への関心を喜ばしく思う。そして、両国の参加を歓迎する。両国の参加は、我々のイニシアティブを強固にし、かつ、TPPがアジア太平洋地域全域に及ぶ経済統合のあり得べきプラッ

トフォームになり得るものとするとの我々の目標を前進させる助けとなるものである。我々は、他の国々と、潜在的に将来交渉に参加することへの関心について議論を継続している。同時に、我々は、TPPが「生きている」協定として、適切な場合には、将来の貿易、技術又は他の新たな問題や課題の進展に対応して発展することを可能とするような組織、制度、及びプロセスをつくることへの合意形成について重要な進展を得た。我々はまた、共通の関心分野における将来の共同作業について、最も生産的で効率的なアプローチも検討している。

次のステップ

我々は、我々9カ国の首脳がこの協定の妥結を優先していることを認識している。これまで協定の全分野で重要な進展があり、現在、我々は、慎重な検討及び緻密な協議が必要な、複雑で、新しく、センシティブな分野を含む、残る問題に取り組んでいる。我々は、首脳が我々に指示したとおり、本交渉を可能な限り早く成功裏に妥結することができるよう、こうした取り組みを続けるとともに、メキシコ及びカナダを効率的に交渉に含めることに必要な資源を投入することを継続する。

(了)